

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 田辺市

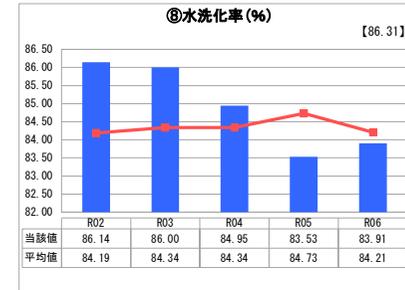
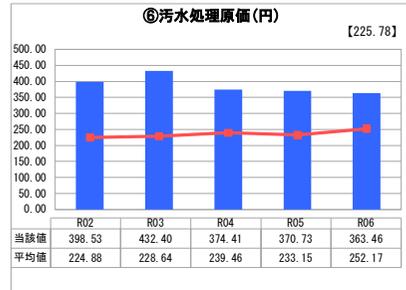
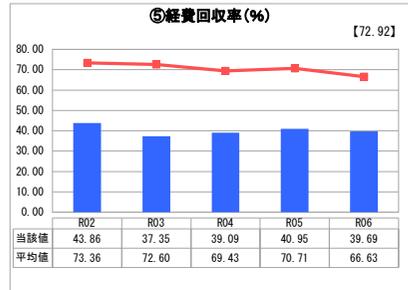
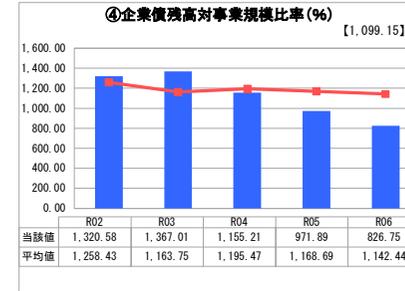
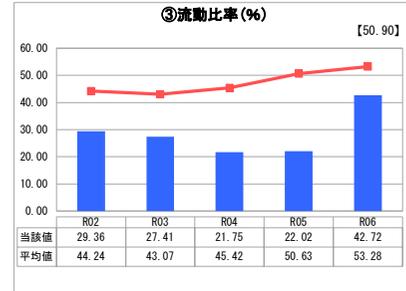
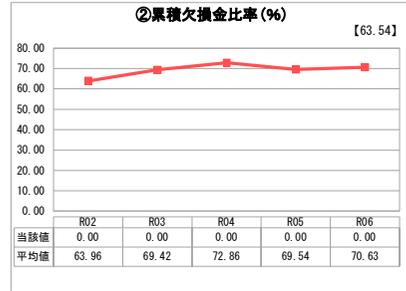
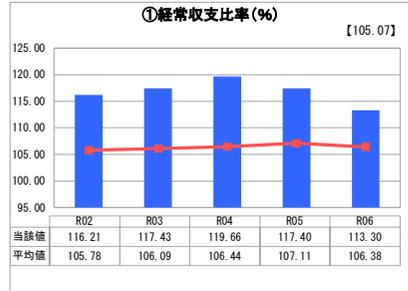
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	86.66	0.13	47.96	4,610

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
67,316	1,026.89	65.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
87	0.13	669.23

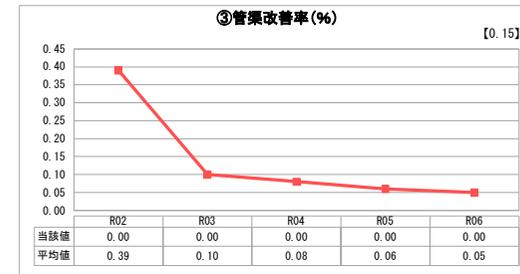
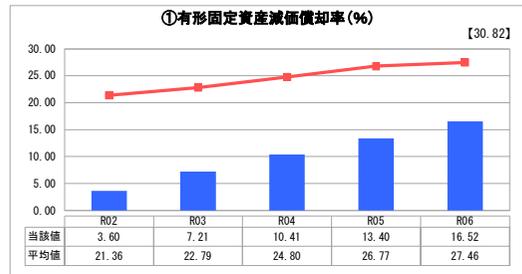
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本来、料金収入で会計全体を賄う独立採算による経営が基本と考えますが、全体計画区域内の地域実情を勘案する中で、現状の料金収入のみで運営することは困難な状況で経費回収率は低く、一般会計からの補助金収入に頼らざるを得ない状況です。今後、経営改善に向け施設維持管理経費の更なる節減や、計画的な施設改修等に努めてまいります。汚水処理原価は、類似団体より高い数値となっているため、接続率の向上や有収水量の増加に努め、汚水処理原価の改善に努めてまいります。施設利用率は、年々類似団体の平均値に近づいている傾向があります。施設が整備されている地域は観光地であるため、施設建設当時は観光シーズンの最大稼働を見込んでの設計をしておりますが、高齢化に伴う宿泊業の廃業等による利用状況の変化や、観光客数の変動があるものの、施設利用率は若干増加しております。

2. 老朽化の状況について

供用開始から23年～29年が経過しており、改修等が必要な時期となってきております。今後老朽化により発生する改修費も想定した計画的な老朽化対策に取り組んでまいります。

全体総括

本市の特定環境保全公共下水道は、平成17年度の市町村合併以前から旧本宮町・旧龍神村において、温泉観光地の浄化を目的に、地域を限定した比較的小規模な下水道として事業を行っており、会計については、令和2年4月1日より、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業会計へ移行して事業運営をしております。令和6年度は、使用料収入が若干増加しておりますが、有収水量も増加しているため、経費回収率が若干減少しております。人口増加の期待は薄く、高齢化もより進むことが予想されるため、今後大幅な収入の増加は難しいと考えられますが、継続促進の啓発を続けるとともに、計画的かつ効率的な施設の維持管理を行い、地域の生活環境の向上を図り、経営の安定化に努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。